

「江別市小中一貫教育」☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



つなぎ つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和7年12月19日

第68号

江別市教育委員会

総務課・学校教育課

学力の定着・向上のために…放課後学習サポート ～石狩教育局社会教育巡回訪問 大麻東中～

10月24日（金）に今年度市内2校目の石狩教育局社会教育巡回訪問が大麻東中で行われました。当日は、石狩教育局から社会教育指導班主査と社会教育主事の2名が来校し、学習サポート教員が子どもたちを支援する「放課後学習」の様子を参観しました。また、大麻東中のコミュニティ・スクール（CS）や地域と連携した教育活動の取組の様子等について説明を受け、協議を行いました。

大麻東中の放課後学習は、子どもたちが部活動の前や掃除当番終了後等、自分の都合に合わせて数学科のプリント学習等に取り組むものです。放課後学習が行われている教室には、学習サポートの先生がいて、生徒の質問に答えたり、一緒に考えてくれたり等、一人ひとりの困り感に寄り添いながら丁寧に対応してくださるので、毎回たくさんの子どもたちが来室しており、学力の定着・向上にも貢献しています。

その他の協議では、学校以外の場所で行う「制服リサイクル」の検討等のCSでの熟議の様子や地域の文化施設「えぼあホール」を活用した学校祭の様子、今年度新たに取り組んだ中学3年生対象の高校説明会「高校ドラフトミーティング」の取組等について、学校側から説明がありました。

放課後学習サポートの取組が地域人材を活用して子どもたちの資質・能力の向上を図っていること、学校外での学校祭の開催や地域での吹奏楽部のコンサートの実施等、生徒が地域で活躍する機会が複数あること等について、石狩教育局から地学協働の好事例であるとの肯定的な助言がありました。



放課後学習サポートの様子



学校の取組を説明する教頭先生

小中や小小の連携・協働をさらに充実させるために ～各中学校区の小中ブロック研修会～

11月20日（木）、21日（金）に、市内の中学校区で、江別市教育研究会小中ブロック研修会が開催されました。中学校区内の小・中学校を会場にして、授業参観を通して児童生徒の実態や授業内容、指導方法等についての交流・研究協議が行われました。また、小中一貫教育の「目指す子ども像」や「サブ目標」、「系統的な指導」、「一貫した指導」、「相乗的・補完的な指導」等に関する今年度の取組の反省と今後の取組について、教科部会や特別部会等に分かれて熱心に話し合いが行われました。



第一中学校区の様子（第一中）



江陽中学校区の様子（豊幌小）



大麻中学校区の様子（大麻西小）



第二中学校区の様子（第二中）

中学校の先生の指導が子どもたちの目を輝かせる！ ～大麻中学校区、第二中学校区の乗り入れ授業～

12月9日（火）、11日（木）に大麻中学校の数学科の先生2名が、3つの小学校（大麻西小、文京台小、大麻小）の6年生の教室で乗り入れ授業を行いました。大麻西小と大麻小では、導入段階で「なぞなぞ」の答えを考えて興味・関心を高めてから、「算数オリンピック」の3つの問題を解いていく授業内容でした。子どもたちは、「規則性をさがしてみる」「予想してやってみる」「大胆に攻めてみる」という数学科の学習で大事な3つのことを学びました。文京台小では、「三平方の定理」の学習で、図形を分割して考えたり、色画用紙を切り取ってパズルを合わせるように思考したり等、「ひらめき」と「柔軟な発想」で問題を解いていく授業内容でした。3校の6年生の子どもたちは、「数学的な見方・考え方」を働かせながら、これまでに学んだ知識・技能をフルに使って問題解決に挑んでいました。

また、第二中学校区でも中学校の音楽の先生による合唱指導の乗り入れ授業が行われました。授業を受けたのは、学芸発表会を間近に控えた5年生と6年生です。子どもたちに授業の感想を聞くと、「以前よりも大きな声で歌うことができた。」「お腹に力を入れることでうまく歌えた。」等と嬉しそうに話していました。

乗り入れ授業は、入学前に中学校の先生の専門的な指導を受けることで、学習内容の理解が深まったり、中学校進学への自信と楽しみが増したり等の効果があります。



大麻中学校区の数学科の乗り入れ授業 左から大麻西小、文京台小、大麻小の授業

第二中学校区音楽科の乗り入れ授業

研究発表会を通して学び合い、高め合う先生方 ～対雁小学校 江教研 学校課題研究発表会～

11月28日（金）に、対雁小で江別市教育研究会の学校課題研究発表会が開催され、市内の多くの先生方が特設授業の参観と研究協議に参加しました。特に、同じ中学区内にある中央小と中央中は、日課を午前授業にして全員で参加し、研究内容や授業改善について熱心に協議を行いました。

研究発表校の対雁小では、3年間に渡って「自由進度学習」についての研究を進め、「自ら学び 高め合い ねばり強い子ども」の育成を目指してきました。特設授業に臨んだ子どもたちは、学習の見通しをもって自分なりの学習方略（学び方）で課題追究を進め、最後に振り返りを行って次の学習への意欲を高めています。全体会・研究発表後の各部会での研究協議では、新たな授業像を提案した先進的な取組に対してたくさんの肯定的な意見が寄せられました。



「自由進度学習」を参観する先生方

地域とともにある学校づくりを進めるために ～中央中学校区 CS、学校運営委員会の合同開催～

12月3日（水）に「えべつ型コミュニティ・スクール（CS）」の中央中学校区合同学校運営委員会が開催されました。例年2回目の学校運営委員会を3校で一緒に開催し、小中一貫教育の取組についての説明・協議を行っています。

今年度は、中学校的体育科の先生による新体力テストの指導や2つの小学校のPTAのお祭りに中学校の吹奏楽部・科学部等が協力する取組が新たに行われました。これらの中学校区の連携・協働した取組に対して、学校運営委員の皆様から好意的なご意見をいただきました。



中央中学校区合同 CS の様子